

幼子はイエスと名付けられた

ルカによる福音書 2 : 15 - 21



司祭 ヨハネ 井田 泉

2024年1月1日

主イエス命名の日

上野聖ヨハネ教会にて

「八日たって割礼の日を迎えたとき、幼子はイエスと名付けられた。これは、胎内に宿る前に天使から示された名である。」

ルカ 2:21

今日1月1日は主イエス命名の日です。この新しい年、イエスの名を呼び、イエスの名を心に保って歩んでいきましょう。

ところで、今聞きましたルカ福音書の主イエス命名の記事が、羊飼いの訪問の話に続けて記されていることに注意を向けましょう。

イエスが生まれたその夜、羊飼いたちが訪ねてきたことは、マリアにとってもヨセフにとっても非常に印象深いことだったのです。その余韻は1週間経っても残っています。

マリアは信じて受け入れ、すべてを神にゆだねていました。あの天使ガブリエルから聞いたこと——生まれる子は神の子であり、人々に神の救いをもたらす者となる——その言葉を受け入れて、それに自分を献げたのです。このことはおそらく、ただ夫ヨセフと、親戚のエリサベトの二人だけが知って共有していることであって、他のだれも知らないことでした。

ところがあの晩、羊飼いたちが訪ねてきてこう言ったのです。

「わたしたちはお生まれになった救い主を尋ねてここに来ました。天使が現れてわたしたちに知らせてくれたのです。ダビデの町ベツレヘムに、布にくるまって飼葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるだろう。それがその方である、と」

羊飼いたちがそう話したとき、そこに神の祝福と平和が満ちました。羊飼いたちは伏して幼子を礼拝したでしょう。マリアは、ほんとうに神の救いのわざが自分の身をとおして実現しつつあることをあらためて確信しました。同時に、畏れと幸せに満たされました。羊飼いたちは素朴な人たちです。その彼らが天使のようでした。神からの良い知らせをここに伝えに来てくれたからです。羊飼いたちをとおして、マリアは神の愛と神の臨在をはっきりと感じました。励まされ、力づけられました。

天使から言われたとおりに、この子を名付ける。マリアはその日を心して待ちました。

こうして誕生の日から8日目、マリアとヨセフは幼子を「イエス」と名付けました。天使からマリアに、またヨセフに「**その名をイエスと名付けなさい**」(ルカ 1:31、マタイ 1:21) と命じられていたとおりに、それを実行したのです。このようにして神さまの約束が一つ一つ現実になっていくのを感じます。

名付けるとき、マリアは祈りをこめました。イエスに愛を注ぎました。マリアはイエスの名を呼びました。ヨセフもイエスの名を呼びました。近くにいた人たちも、イエスの名を呼んだことでしょう。「イエス」とは、「主は救い」という意味です。その名のとおり、イエスは神の救いをこの世界にもたらす方なのです。

この出来事を幼子のほうから見たらどうなるでしょうか。幼子はイエスという名前を受けました。それによって神からの使命を受けました。世を救う、わたしたちを救うという使命です。

同時にイエスは、その名前とともに愛を受けました。マリアの愛を、ヨセフの愛を、そして何よりも神の愛を受けました。イエスと名付けられた幼子は、愛の光の中に包まれています。そして幼子イエスから愛の光が放たれています。

今お話ししたことは遠い昔の遠い国の出来事です。けれども実は、イエスの愛の光はわたしたちに届いています。わたしたちを包んでいるのです。

パウロはこう言っています。

「洗礼を受けたあなたがたは皆、キリストを着たのです」

ガラテヤ 3:27 (聖書協会共同訳)

わたしたちが洗礼を受けたとき、イエスの名がわたしたち一人ひとりの中に宿りました。イエスの名がわたしの心と体のうちに刻まれました。イエスの名がもたらす愛と力と命をわたしたちはいただきました。イエスはご自身の愛の光をもってわたしたちを包まれました。そのことをパウロは「キリストを着た」と言うのです。これは消すことができず、消えることのないものです。わたしたちはイエスの名を帯びています。

世の中には多くの大切な名前、偉大な名前があります。けれどもわたしたちの生涯を包み、わたしたちの命を支える名前は一つ。わたしたちが生きる時も死ぬ時もその向こう側に行く時も、わたしたちの一切に責任を持ってくださる方の名前はただ一つ。わたしたちが自分のすべてをゆだねることのできる名前は、イエスの名ただ一つです。

この新しい年、イエスの名を呼びつつ歩いていきましょう。その名には力があり、命があります。この方がわたしたちの名を呼びつつ、わたしたちを導いてくださいます。

祈りましょう

主イエスさま、あなたの名を心に保ち、あなたの名を呼んでこの1年を歩みます。どうかあなたの名の力、救いの力をわたしたちに、この世界に現してください。暴力と戦争を終わらせ、平和を来たらせてください。主の尊いみ名をほめたたえます。

アーメン